

群馬県立前橋清陵高等学校(通信制) 学校評価一覧表 (令和5年度版)

(別紙様式)

羅針盤			方 策	点検・評価		達成度 総合	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が80%以上である。	・学習面および生活面について詳しく把握し、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行う。	A	A	A	①本校が好きだと回答した生徒は前期86%、後期87%であった。回答した生徒の満足度は高いと思われる。更に向上できるようにしていきたい。 ②単位制のシステムに満足している生徒は前期・後期とも94%であった。生徒のニーズの把握と、個々の生徒の実態に応じた教育活動を工夫している。 ③人権教育や主権者教育に対しては、85%の生徒が満足していると回答している。また以前に比べて多くの生徒が人権講座に参加した。生徒の関心に応えられるよう工夫している。	A: 単位制のシステムに期待して入学してくる生徒たちにその利点をしっかり伝えることで、ニーズに応えたものと判断されます。ただしレポート提出や出席ができない生徒の声を生かしてもらいたいです。 A: 生徒の満足度が高い人権教育はなかなか大変でしょう。
		②前期卒業や多様な選択科目など、単位制高校のシステムに満足している生徒が80%以上である。	・生徒の実態やニーズに対応するため教育課程を工夫・改善する。	A	A	A		
		③本校独自の人権教育に満足している生徒が80%以上である。	・人権教育について、生徒に積極的な参加を呼び掛けることともに、実施内容を検討し、充実を図る。	A	A	A		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④単位修得した生徒で、学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。	・レポート作成等の自学を促すと同時に、必要に応じて登校させて指導するなど、生徒に積極的に関わる雰囲気や環境をつくる。 ・「授業アンケート」の回答等を参考にし、スクーリング等面接指導の改善に努める。	C	B	B	④単位修得した生徒で、学習に対する達成感・満足感を持っている生徒は前期49%、後期71%だった。担当者が講座アンケートの回答を振り返ることで面接指導やレポートの改善に努めている。 ⑤単なる穴埋めだけでなく、思考の問題もバランス良く配置している。生徒の79%が教科・科目の知識や思考力が付いたと感じていると回答した。主体的・対話的で深い学びが実感できるよう工夫していきたい。	B: 80%以上という目標値は、かなりハイレベルといえそうです。それでも単位修得した生徒の学習への到達感、満足感が後期71%という結果は評価できます。 B: 登校時の対話の機会を活かしてください。 B: 通信制でレポート課題は学習の中心になるものから、内容を工夫することは重要です。考えを深めることができるよう今後も継続してください。 B: 生徒のバラツキはあるかと思います。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤主体的に学習に取り組み、教科・科目の知識や思考力が身に付いたと感じている生徒が80%以上である。	・レポートに知識や思考問題をバランスよく配置したり、探究型学習を取り入れたスクーリング授業の実現に向けて、常に改善の工夫をする。	B	B	B		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥生徒に関する動向確認をスクーリング日の放課後に毎回行い、生徒の個別指導に役立てるとともに、情報交換会議を学期に2回行う。	・日常的に生徒の情報共有に努め、職員全体の共通理解のもとで組織的な指導を行い、諸問題に対応する。	B	A	B	⑥日常的に生徒の情報共有に努め、職員全体の共通理解のもとで組織的な指導を行い、諸問題に対応することができた。 ⑦アンケートで生徒のトラブルや悩みに関する情報収集を行うことができた。スクーリング時の様子や、電話対応などで生徒観察を行い、変化を見逃さないよう努めた。 ⑧規則正しい生活を送れていると回答した生徒は51%であった。卒業後を意識して、スクーリングがない日でも規則正しい生活を送ることができるよう声かけをしていきたい。	B: スクーリングに登校した生徒の動向から個別の指導に役立てることはもちろん大切ですが、登校してこない生徒の情報共有をして支援につなげてもらいたいと思います。 A: 先生方の情報共有はされているようです。 A: 定時制に比べて生徒が接触する機会が少ないため、校内でのいじめは多くないはず。気になる生徒を中心に観察をお願いします。 A: 気付くのは大変ですが、よろしくお願いします。 B: 生徒が仕事やアルバイトをしながら学習を継続する上で、不規則な生活となることもあるでしょう。無理をしないように注意を呼びかけてもらえればと思います。 B: 個別に立ち入るのは、なかなか大変だと思います。
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑦いじめの発生防止に努めるとともに、細かな兆候を見逃さず、把握したいじめ・トラブルへの迅速な対応を必ず行う。	・アンケートなどをおして生徒の情報収集に努めるとともに、日常的な生徒観察を行い、いじめの早期発見に努める。	A	A	A		
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑧規則正しい生活を送っていると実感している生徒が50%以上である。	・個々の生活リズムを確立できるよう、学年通信などで呼びかける。	B	B	B		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑨自己の将来を考えさせるための進路説明会を、年に2回以上行う。	・生徒の進路に対する意識向上のため、外部機関や外部の人材などと連携した進路説明会を企画する。	B	B	B	⑨進路説明会を実施することで、進路が未定の生徒が考えるきっかけとなっている。生徒の実態をふまえ、外部機関と連携した取り組みを推進していきたい。 ⑩LHRでは、校内の進路説明会や3パート合同の進路行事の進路情報を促すことにより、昨年より参加者は多かった。LHRにおける系統的・組織的な指導の実施については次年度も検討していきたい。 ⑪進路相談週間を設定し、進路に関する相談が気軽にできる雰囲気づくりに努めた。進学のための受験勉強と学校の学習との両立が困難な生徒も見られたので、単位修得等の学習面での支援について検討していきたい。 ⑫アンケートでは、「清陵通信」をしっかり読んでいる、だいたい目を通していると回答した生徒を合わせると約9割であった。進路情報はよく生徒に伝わっているものと考えている。今後とも生徒が必要としている情報の提供に努めたい。	B: 単位を修得することがどうしても中心になるためLHRや進路説明会に積極的に参加することは難しいことかもしれません。 B: LHRでの指導は継続してお願いします。 A: 中学校から入学してくる生徒にとっては、キャリア教育が極めて重要になります。リカレントやリスクリングも今後は重要な課題となるでしょう。 A: 清陵通信は良く読まれているようです。
		⑩進路関係をテーマにしたLHRを年に2回以上行う。	・進路説明会への積極的な参加を生徒に促すとともに、LHRにおける進路指導を充実させる。	B	B	B		
		⑪卒業予定生のうち、自分自身の進路について方針が決定している生徒が80%以上である。	・進路相談週間を設定することで、生徒が気軽に進路相談を受けることができるような環境づくりに努める。	B	B	B		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭・地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑬80%以上の在校生が本校のホームページを見ている。	・学校の教育活動の様子や必要な情報等をホームページに掲載し、その内容を随時更新することにより、在校生とその保護者をはじめとして、外部への情報発信を強化する。	A	A	A	⑬96%以上の生徒が見ている、または見たことがあると回答している。例年よりも、多く発信したが、来年度以降はさらに充実させ、ホームページを見る習慣づけをしていきたい。 ⑭入学希望者向け学校説明会を4回開催した。そのうち2回は初めて本校ではなく昌賢学園まえばしホール(小ホール)を会場として開催した。他団体主催の説明会にも3回参加することができた。 ⑮今年度、在校生保護者、入学希望者とその保護者や関係者向けに2回実施した。今年度初めて、レポートの展示を行うブースを設け、本校の教育活動の理解の一助となるようにした。今後もさらに充実させていきたい。	A: 個人情報の保護に十分配慮しながら、情報発信を積極的におこなってください。多くの先生が関わると良いと思います。
		⑭入学希望者やその保護者に通信制課程に対する理解を深めてもらうために、本校主催の学校説明会を年2回以上実施するとともに、他の団体主催の合同説明会等に年2回以上参加する。	・入学希望者やその保護者に、自主・自律を軸とする通信制課程の特色が伝わるよう、提示する資料や説明の方法を工夫する。	A	A	A		
		⑮保護者や入学希望者に対しての授業公開を年に1回以上実施する。	・在校生の保護者および入学希望者とその保護者にスクーリングの様子を公開し、通信制課程の特色を伝える。	B	B	B		
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯NHK高校講座やその他のデジタルコンテンツを学習に活用した生徒が30%以上いる。	・スクーリングにおけるICT利用だけでなく、生徒自身がデジタルコンテンツを活用するよう呼びかける。	A	A	A	⑯ICTを活用した学習指導は80%以上で行われている。更に多くの生徒が活用できるよう指導していきたい。県からの端末配布がされなかったり、家庭環境など様々な事情で準備できない生徒が存在していたりする状態をどのように解決していくのか模索していきたい。 ⑰学校説明会の申込や講座アンケートにおいてGoogle Formsを導入し、業務改善に取り組んだ。	A: NHKの高校講座を活用するのは当然あって良いのですが、校内でも配信できるコンテンツがどんどんできると良いと思います。 A: ICTの活用は進んでいるようです。 B: 通信制では、レポートのやりとりが中心となるので、どうしても紙ベースのものの処理が多くなります。いかに紙を少なくできるか工夫や見直しをしてください。 A: 継続して取り組んでください。
		⑰ICTを活用して業務改善に取り組む。	・業務の効率化を図るために、ICTを活用できる場面を見極め、導入する。	B	B	B		